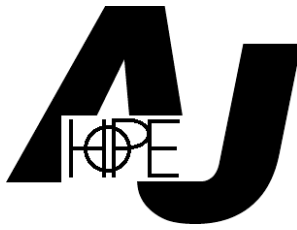


Japanese Welfare Society in Australia



Hope Connection Newsletter No.72

ホープコネクションニュースレター第72号 発行日2015年2月1日

発行者 Hope Connection Inc.

** Hope Connection Inc. はビクトリア州政府に登録された非営利非宗教の社会福祉団体です **

住所/郵便宛先 c/o Hope Foundation, 40 Grattan St. Prahran VIC 3181 電話(電話相談兼用) 0408-574-824

ホームページ: <http://www.hopeconnection.org.au>

e-mail: info@hopeconnection.org.au

ご挨拶

2015年、みなさまはどこでどのような新年を迎えられましたか。欧米先進諸国の大都市では、何ミリオンの費用をかけて華やかに花火を打ち上げ、新年をむかえる、といのが習慣となってきたようです。けれど日本に生まれ育った人には違和感もあるのではないのでしょうか? 静かに除夜の鐘を聞きながら逝く年を惜しむ、というのはなんと素晴らしい習慣なのだ、と思うのは筆者の年齢のせいでしょうか? テレビの画面に映し出されては消えていく花火を見ながら、他の国々は、グローバル化の波に乗り遅れまいと経済列強の真似をすることなく、誇りをもって自国の伝統をしっかり守ってほしいものだと思います。

そして2015年、世界の幕開けはパリの一大テロ事件でした。14年の年末にはシドニーでもテロが起きました。振り返ってみると21世紀の幕開け2001年には米国で9.11多発テロが起きています。日本のある大学教授は「20世紀は戦争の世紀だった」とし、「21世紀はこのままいくと欧米とイスラムの対立がエスカレートするテロの時代となる」と書いています。

かつて白豪主義だったオーストラリアは、現在、多民族文化主義へ移行し、イスラム人、ユダヤ人、中国人、チベット人、韓国人、日本人などさまざまな人種が住んでいます。せめてオーストラリア国内だけでも、これらの人種が宗教や政治的対立をさげ、テロなどの武力に訴えることなく、お互いの文化と伝統を尊重し、平和な生活をわかちあっていきたいものだと思います。

さて、視点をひざ元のメルボルンに移しまして、ホープコネクションのシニアを中心にしたアクティビティ「鈴の会」は、今年で発足6年になります。昨年好評だった麻雀教室は、第1週の木曜日3時から5時へ移行し、講師に伊藤修さんをお迎えします。同好の有志で人数が集まれば、講師はお願いできませんが、毎週木曜日1時から4時30分までの麻雀会も可能です。また、今年から「伊勢型紙」教室が第3木曜に新しく始まります。詳しくはこのニュースレターの最終ページをご参照ください。今年も皆様と一緒に活動を充実させていきたいと願っています。木曜日の午後はプラーンにあるコミュニティセンターの鈴の会で楽しいひと時をお過ごしください。

パスワードの現実解(1)

IT 技師 根本雅之

皆さんは、ご自分がどんなパスワードを持っているか、把握していますか? 覚えていないまでも、いざというとき、すぐに思い出せるように整理、保管されていますか? 今回からこのニュースレターの場をお借りして、数回にわたり、パスワードの扱いについて、指針を示してみたいと思います。第一回は、パスワードの意義とパスワードの生成法について説明します。

パスワードだけを覚えても意味がない!

コンピューターやネットを通じて何かサービスを受けたいとき、通常そのサービスを利用するためのアカウントを作成します。サービスを利用するとき、ID(ユーザーID)を入力して、「私はこのIDで示されるアカウントを使ってサービスを受けます」と意思表示します。サービス提供側は、それが本当に本人であるのか見極めなくてはなりません。そのためには本人しか知り得ない情報を求めるのが妥当でしょう。この「本人確認のための身分証明書の代り」がパスワードです。

パスワードはそれ単独で覚えたり、メモしたりしても意味がありません。パスワードだけではなく、「利用するサービス」、「アカウント特定のためのID」、「そのIDに対するパスワード」の三つをまとめて記憶するなり、保管するなりしなくてはなりません。また、これによってどんなサービスが受けられるのか、その意味を理解していないと、あとで、一体どのIDとパスワードが必要なのか分からなくなってしまいます。たとえば、以下のようにして、三つの情報をひとかたまりとして覚えるなり、保管するなりしなくてはなりません。

➤ サービス: インターネット接続

ID: nemoto123@ips.com.au

パスワード: ThisIsMyp@ssw0rd

➤ サービス: Gmail

ID: nemo_chan555@gmail.com

パスワード: That1sNotUrPas\$word

パスワードの理想論

他人のパスワードを盗もうとする人は、ありとあらゆる手段を用いて、パスワードを割り出そうとします。また、コンピュータープログラムで、パスワードのパターンを無数に生成し、これを総当たりで試す方法もあります。プログラムで自動的にやらせるので、あっという間にパスワードを探り当てることもできます。ではそれに対抗するには? まずは理想論を述べます。

1. パスワードは長いほど破りにくい。なるべく12文字以上のアランダムな文字列を選び、大文字小文字、数字、記号をすべて含める。

- パスワードは使い回し(複数のアカウントに同じものを使用すること)をしない。
- パスワードは定期的に変更する。

実際問題として、これらすべてを徹底するのは無理でしょう。白状すると、私だってできないと思います。ではもう少し現実的な解を考えてみます。今回は、最初の項目に注目して、強力なパスワードの現実的な作り方について考えます。

強力なパスワードの作り方

コンピューターで類推したり総当りで調べたりすることを想定したら、次のようなパスワードはとても危険なことが分かります。

- 単純な文字列や数字列(例: abcd、1234、0000)
- ユーザーID と全く同じだったり、本人の名前や誕生日など、容易に類推できるもの(例: nemoto、19910512)

したがって、なるべく長い、アランダムなパスワードが、破られにくい強力なパスワードであるということになります。たとえば、これなんか、かなり強力です。 **J4*73l)1-kqlm8#ib?sxpO**

確かに何かから連想したものではないので、類推はできませんし、これだけ長ければ、総当りで当てるのも、その手間がコスト的に見合わなくなってきました。しかし、相反して、このパスワードは、覚えるのは無理だし、間違えずにタイプするのも大変そうです。

もう少しシンプルかつ覚えやすいものでも、いいのではないかと思います。どこまでシンプルでいいかは、ケースバイケースで、次回以降に説明します。また、現在、ほとんどのパスワードには規則があり、通常8文字以上で、少なくとも1個ずつのアルファベットの大文字と小文字、数字か記号(または数字と記号両方)を含めることが定められており、これには従うしかありません。以上を満足する現実解として、よく知られている生成法を私なりにアレンジして提案してみました。

- まず、自分の好きなフレーズや人の名前などから、二つ以上の言葉の組合せを作ります。もちろん、上記のとおり、自分や家族の名前、誕生日、住所などは避けてください。二つの言葉は全く無関係なのが理想ですが、覚えやすくする意味で、連想できるものでもOKです。(例: サザンオールスターズの頭文字「SAS」と、いとしの「Ellie」を組み合わせ、「SASEllie」)

- 次にこれを以下のように、変化させます。これらは単なる例で、適宜取捨選択してください。またこれ以外にご自分で工夫されても構いません。

- 大文字小文字の配置を換える。(例:各語の最後の子音を大文字に saSelLie)
- 数字や記号を足す。(例:最初と最後に数字、2語の間に記号 1saS&ellie5)
- 一部の文字を数字や記号に換える。a→@、e→3、l(アイ)またはL(エル)→1 または!、o(オー)→0(ゼロ)、q→9、s→\$などの独自規則を作ってそれに従う。

以上より、二つの言葉を元に、かなり強力なパスワード **1s@S&elLi35** ができました。(次号に続きます。)

水漏れ騒動記

編集部

はじめに

ドライブウェイのコンクリートの下に埋まっている水道管が破裂した。以下は、私が実際に経験した、プラマー・隣人・保険会社との

やり取りの記録、というか失敗談である。読者の皆様が同じような目に遭わないように、参考になれば幸いです。

背景と事の始まり

ユニットが2軒並ぶその1軒に引っ越してきて5年。隣人とも仲良くやってきた。彼らも持ち家で、コモンエリアに関する保険や植木のメンテナンスなど、意見の大きな食い違いもなく、話し合いはいつもスムーズで、費用も問題なくシェアして、上手く付き合ってきた。コモンエリアであるドライブウェイはコンクリートで、その下に埋まっている水道管は、メインメーターから先、2手に分かれて、それぞれのユニットのメーターへとつながっている。水道代は、ユニットごとに分かれて請求書が届く。ところが1年程前から、ユニット1でも2でもない請求書が届くようになった。

Yara Valley Waterに問い合わせると、「2軒の水の使用量の合計が、メインメーターの使用量と異なるということは、どこかに共有の蛇口があるはず。」との回答だった。外に蛇口はあるが、それぞれのユニットに付いていて、共有のものは思い当たらない。それから3ヵ月ごとに請求書が届いた。小額だが少しずつ増えていっている。

水漏れ発覚

隣人がキッチンの改装をするついでに、プラマーに例の請求書について聞いてみてくれた。すると、水漏れに違いないとのこと。両方のユニットの水の元栓を閉めてテストしたら、誰も水を使っていないのに、メインメーターが回り続けたようで、それも結構なスピードで回っているのだから、次の請求書は数百ドルになるだろう、とのこと。間違いなく、水漏れだ。

プラマー探し

まずは、友人から聞いたプラマーに電話してみた。費用はCall out \$65 + extra \$24/15min + GST とのこと。1時間当たり税込みで\$100強だ。次にインターネットで、プラマーを検索した。費用の相場も分かかってきたところで、評価も高く、「Reasonable」とレビューに書いてあったPS社に決めることにしたのだが、電話口で代表Sは、「Call out \$89 including first 30min, then \$20/20min + GST.」と言った。この電話で話した内容を書面でもらわなかった事が、一つ目の大きな失敗だった。

待望のプラマー到着

何度ものキャンセルの後に来たプラマーは、その道40年以上と言うおじいさんだった。仕事は、盆栽の手入れをしているかのようにゆっくりで、その日は1時間程掛けて、水漏れの場所を特定するでもなく、修理を始めるでもなく、ただ概要を把握するだけだった。Gは、水漏れは我が家のメーターからメインメーターの間、つまりコモンエリア内で起きているという事と修理の方法を私と隣人に説明した。そして、肝心の修理は次回、連休明けになると聞いてがっかりした。「プラマーの仕事は大変だから、休息が必要。ビーチにのんびりしに行くんだ。」と、Gは言い、「週末に修理すると、とっても高いよ。」と続けた。水漏れはまだ直っていないので、連休中も昼夜を問わずに水は無駄に流れ続ける。

修理

予定の日、待つこと2時間。でも今日こそは、この人が水漏れを止めてくれる!と信じて、遅刻をとがめる事はしなかった。幸いな事に、水漏れの場所は直ぐに見つかったが、元栓も閉めずに、噴出す水をそのままにして、プラマーGは何も言わずにどこかへ行ってしまった。電話を掛けてみると、「今、部品を取りに行っている」と言う。どう

してこの部品も予め用意して持ってこないのか?と、その段取りの悪さと無駄に時間をかける仕事ぶりに驚いた。水の元栓を閉めてしばらく待つと、Gは戻ってきて小さな部品で穴を塞いだ。「これは仮止めだから、また明日の朝8時に来る」と言って、帰っていった。本日の作業時間は4時間程だった。翌日、また早起きして8時前までに水を使う朝の支度や家事を全て終えて、プラマーを待った。Gは3時間遅れて到着した。修理を依頼した日から10日目にして、やっと我が家の水漏れは止まった。

支払い

作業終了、プラマーGがレポートを書いている間に、PS 社代表のSから電話が掛かってきた。「今、請求書を作っているところだから」と、住所の確認を求められた。「今、Eメール送った。届いたか?」と矢継ぎ早に言われた。急いでパソコンを立ち上げるが、その間も「受け取ったか?」と繰り返し聞かれ、メールが届いたことを確認すると、こちらがPDFの請求書を開く前に、"\$1339+GST. What's your credit card number?"と強い口調で急かされた。私が「保険会社に請求書を送る」と伝えると、「保険屋は支払いが遅いから駄目だ。クレジットカードの用意はできたか?」と言う。私が請求書に目を通す間もないうちに、「今、カードで支払って、さっさと保険会社に請求しろ。カード番号は?」と会話が成り立たない勢いで一方的に、"Are you ready?"と大声で繰り返し、その場でカード決済を要求してきた。あまりの勢いに圧倒され、子供の学校のお迎え時刻が迫ってきていることもあって、電話口で番号を伝えて支払いを済ませた。この遣り取りの最中に、Gは手書きのレポートを私に手渡しして、サインを求めてきた。電話中である上に、手書きの文字が読みにくく、しっかり目を通さずにサインをしてしまった。電話を切って、Gが去って、どうしてもっと落ち着いて対処できなかったのかと後悔した。

後の祭り

子供達が寝静まった後ようやく請求書を見直した。その内容はとんでもなかった。labourが怪しいほど高く、電話で聞いたレートで計算してみると、明らかに多くチャージされている。Gの手書きのレポートを読むと、total labourは12時間と書かれていた。連日大幅に遅刻して来たくせに、約束の時刻から計算したんじゃないかと思うような数字だった。しかし、もうサインも支払いもしてしまったので、後の祭りだ。本当に大失敗をしてしまった。作業時間については、毎回きちんとした記録を残しておくべきだった。

隣人と保険

コモンエリアについては、ユニット1と2共同で保険に加入してい

る。担当ブローカーに問い合わせると、有難いことに、免責の\$200と部品代以外は全額戻ってくるのが分かった。今回の水漏れは、プラマーも保険屋もコモンエリアで起きた出来事だと認めているので、隣人に相談すると、「コモンエリアで起きた事だから共同加入の保険を使うのは構わないけど、あなたの家につながる水道管でしょ?うちには関係ないわ。」と言われた。以前、私が住んでいた家は、アパートやタウンハウスが立ち並ぶとても大きな集合住宅の1軒で、Owners corporationがあった。そこでは、全てホームオーナーが管理費を出し合って、それによってコモンエリアのメンテナンスがされていた。自分の家と全く関係のない場所のメンテナンスでも、それがコモンエリア内であれば、費用を出し合うのが当たり前だった。だから、今回の隣人の言葉は、私にとっては思いもよらぬものだった。

終わりに

うちの水漏れ騒動を通じて、初めてのプラマーとの遣り取りで失敗して学んだ事のまとめ。

- 1) プラマーは慎重に選ぼう。ネットのレビューを過信するな。水漏れは突然起こるので、お勧めのプラマーを知っている友人がいなければ、普段から幾つか情報を集めておくとうまいだろう。
- 2) 費用のレートは、急いでいても仕事を依頼する前に、書面でもらってクリアーしておこう。
- 3) 約束の時間にあまりにルーズなプラマーはどうかと思う。不信感を抱いたら、早めにキャンセルして他を当たった方が、後々の為だ。
- 4) プラマーの到着時刻と作業終了時刻の記録を残そう。あまりに大幅に余分にチャージされた時に、確かな証拠があれば、きつと役に立つはずだ。
- 5) 作業完了後のレポートや請求書には、しっかり目を通して、サインや支払いをするのは、記載内容にきちんと納得してからにしよう。どんなに急かされても焦らずに、落ち着いて手続きしよう。
- 6) 支払い方法は、オプションを確認してから、自分で選んで決めよう。信頼できる相手でなければ、電話でクレジットカード払いはやめよう。
- 7) 疑問や文句は相手に伝えよう。相手が強気でも自分が正しいと思う時は、勢いに飲み込まれずに反論しよう。エイエイオー!

以上、反省点だらけだが、今回の失敗を次に活かせるように気をつけたいと思う。プラマーに限らず、他の職種の人に仕事を依頼する場合にも共通する注意点ばかりだ。この先、良心的な仕事人が増えてくれる事を願うと同時に、どうか読者の皆様には痛い目に遭うことのないよう、この失敗談がいつか何かの役に立つことがあれば嬉しく思う。

Special Thanks to-

ホープコネクションの活動は多くの方のご支援、ご好意、ご協力に支えられています。ほんとうにありがとうございます。
庭野平和財団、Good Neighbours Trust Fund、New Hope Foundation、Moshi-Moshi ページ Pty Ltd.、メルボルン在住匿名希望の方、Victorian Multicultural Commission、伝言ネット、ユウカリ出版、Education Logistics、JCV、豪日協会、佐川義人、Timothy McDonald、Michael Morris、洋子マーフィー、NEC、メルボルン日本人会、大隈良譲、Sandra Roeg、SBS 日本語放送、天野行哲、加茂前千代、Christine J. Rodan、吉澤通明、山本和儀、Mark Preston、Stacey Steele、鈴木月子、田村真美、村越庸子、Jennie Rice、City of Stonnington、City of Port Phillip、Kiyomi Campbell、ZZZ、日豪プレス、Maria Palmares、嘉志摩江身子、2006日豪交流年、新保道滄、Leigh Trinh、岩本幸子、入江鈴子、齊藤喜夫、前川由紀子、与那覇麻紀、峰岸夏子、樽井千賀子、永野智子、Mayumi International、古橋和子、ワタダチユキ、水上徹男、根本雅之、森下恵子、励中行、横田仁子、占部英高、稲葉育代、中嶋一憲、スターク章子、伊藤藤、浅原由江、南川紗楽、細野祥子、河野喜美代、福島尚彦、石堂裕子、Ethnic Council of Victoria、City of Bayside (敬称略・順不同)

ホープコネクションからのお知らせ

ホープコネクション 日本語電話相談 困り事・悩み事、お気軽に匿名でどうぞ

電話番号：0408-574-824

受付時間：月・水・木曜日 午前10時～午後3時まで

ご相談はEメール:info@hopeconnection.org.auでも受付けています。お気軽にご利用下さい

ホープコネクション シニア・サービス 鈴の会

ホープコネクションでは、毎週木曜日の午後ブラインにあるコミュニティセンターのミーティングルームで、シニアの方々を中心に、アクティビティを催しています。参加資格は、特になし。年齢、性別、国籍、すべて何でも結構。ただ、日本語が話せる方が便利かと・・・。ともかくどなたでもどうぞ。参加費は無料、参加申込も必要ありません。第2週のお茶会では日本語図書の貸出しもしています。お気軽に立ち寄ってください。このところ、麻雀好きの方が集まって毎週1時から4時30分まで卓を囲んでいます。腕自慢の方のみならず、初心者の方も歓迎だそうです。

第1木曜日：書道教室、午後3時からは麻雀教室

第2木曜日：お茶会。午後3時から社交ダンス教室。

第3木曜日：パソコン自習教室、今月からは伊勢型紙教室が加わります。

第4木曜日：絵画教室。

第5木曜日：コンピューター技術者根本雅之さんのパソコン講座。次回は2015年4月30日の開催予定です。

場所：Grattan Gardens Community Centre 40 Grattan Street Prahran

日時：毎木曜日、午後1時から

参加費：無料

問合せ：上記のホープコネクション電話相談・メール相談へ

伊勢型紙とは、友禅、小紋、浴衣などの図柄や文様を着物の生地に染めるのに用いる型紙のこと。歴史は古く、江戸時代には紀州領主の保護を受けて「伊勢の国」、現在の三重県鈴鹿市白子・寺家両町を中心に栄え今に至っています。

伊勢型紙に使われる紙は、和紙3枚を柿渋で張り合わせ、天日で干してさらに薫煙室で1週間、おが粉の煙でいぶす、この工程をもう一度繰り返す伝統的な製法で作られ、紙としては染色に繰り返し使えるほど強く、伸縮しない性質を持っています。

この型地紙を使って図柄や文様ではなく様々な（絵画的な）作品を彫り抜きます。難しい技術ではなく、始めは柔など簡単なものから始めて、自分の速度で徐々に複雑なものへ移っていきます。人の手の持つ素晴らしい可能性を試してみませんか？

ホープコネクション・セミナー『ハーグ条約（国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約）について』

ご存知の方も多いかと思いますが、2014年4月1日に、日本においてもハーグ条約（国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約）が発効しました。オーストラリアも締約国です。この条約は、主として、両親が国境をまたいで生活することになった時に、子供がどこで暮らすべきなのかを決めなくてはならない場合のものなので、誰にでも関係があるというわけではありません。しかし日本での発効の前後から、ホープコネクションの相談窓口には何件かこの条約に関するお問い合わせがあり、関心を持っていらっしゃる方も多いのではと今回のセミナーを企画しました。

リンカーズ総合法律事務所から弁護士の占部英高さん、山口陽子さんに講師としてお越しいただきます。占部さんは先年、在メルボルン日本総領事館にても、ハーグ条約についての講演をされました。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時：2015年4月11日（土）午前10時～午後12時

場所：Grattan Gardens Community Centre 40 Grattan Street Prahran

参加費：一人5ドル（モーニングティー、資料付）

お申し込み・お問い合わせ：上記の日本語電話相談・Eメールまで（4月9日までお願いします。）